

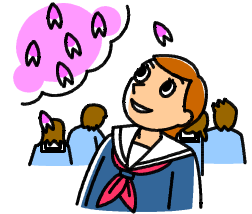
出発点

第1号（1年学年通信）

令和3年4月6日 学年主任 佐野修一郎

今こそ出発点

人生とは毎日が訓練である
わたくし自身の訓練の場である
失敗もできる訓練の場である
生きているを喜ぶ訓練の場である
今この幸せを喜ぶこともなく
いつどこで幸せになれるか
この喜びをもとに全力で進めよう
わたくし自身の将来は
今この瞬間 ここにある
今ここで頑張らずに いつ頑張る



（大徳寺大仙院 尾関宗園）

入学おめでとうございます。今日から新生活のスタートです。期待と不安の混ざった複雑な心境ではないでしょうか。そんな新入生の皆さんに、上記の尾関宗園師の言葉を贈ると共に、1年をどんな学年にしたいかを述べたいと思います。

人間として大切なことは、「礼」だと思っています。「礼」とは難しい儀式（所作）などではなく、他の人に不愉快な気分を与えないことです。不愉快な気分を与えないようにしようと考えると、「礼」とはそんなに難しいことはありません。例えば、信頼される行動をすることです。中学生として信頼されるためには、外見（服装や髪型など）をまじめに見せることや宿題などの提出をきちんと行うことです。信頼される行動をとっていない人を信じることはできません。それでもその人を信じるということは、信頼でなく盲信です。

「礼」を大切に考えると、思いやりも大切になります。悩んでいる人などに声をかけ、慰めるのは勇気のいることですが、そんなに難しいことをしなくても、人を思いやることは簡単にできます。掃除中に自分の分担が早く終わったら、おしゃべりをするのではなく、大変そうな人を手伝ったり、いつもはできない場所の掃除をしったりすることで、手間取っている人たちに不愉快な気分を与えないことです。

また、人にとって大切なモノは、人それぞれに異なります。自分がこれが好きだから、みんなも好きに違いないと考えないことです。つまり、自分の物差しで他人を測らないことも大切な思いやりです。「礼」は奥深いものであり、この紙面では語り尽くせませんが、私は「礼」を大切に作る学年を作りたいと考えています。

私は、常に挑戦し続けることも大切であると考えています。ですから、芝友祭体育の部の学年種目の練習では、周囲が呆れるほど、熱血教師になって燃え上がっています。しかし、挑戦とはイベントの時だけのことでなく、日常生活でもできることなのです。例えば、私は学年の生徒に家庭での自主勉強である「ゴチャマゼノート」を勧めています。強制はしませんが、毎日、何の教科でも良いのでノートに1ページずつ宿題以外の勉強をするのが「ゴチャマゼノート」です。学習内容は、復習中心が良いと思います。一度にたくさんやろうとすると断念しがちですが、1日1ページ、それも宿題の少ない時だけでも行っていくと難しくなく、少しずつ自信も湧いてきます。また、学年通信を1年間に10枚は発行しようと考えていますが、その紙面上で提出ページ数が多い生徒を賞揚し、良い意味での競争をさせたいと考えています。このように、日常生活から生徒諸君が自分自身を鍛えていくような、挑戦をさせたいと考えています。

最後に、部活動（できれば運動部）に入って欲しいと思います。私は大学までの10年間、部活動に所属していましたが、そこで得たモノは大きかったと確信しています。何より、クラスの仲間は1年間ごとに変わりますが、部活動の仲間は3年間一緒です。その仲間達は一生の友になります。部活動では、教室で教えられることも学ぶことができます。1年の全員が部活動で青春をおう歌することを願っています。

★4月予定（新型コロナウイルス対策で変更することもあります。）

- | | | | |
|--------|--------------------------------|--------|------------------------|
| 6日(火) | 新任式・始業式・入学式 | 14日(水) | 行事説明会、学級懇談会 |
| 7日(水) | 生徒会入会式 ※弁持持参 | 15日(木) | NRTテスト |
| 8日(木) | 発育測定 ※給食開始
部活動ミーティング | 19日(月) | 眼科検診
体験入部スタート(～30日) |
| 9日(金) | 避難訓練 | 20日(火) | 生徒集会・尿検査 |
| 12日(月) | 専門委員会、中央委員会
部活動見学スタート(～16日) | 26日(月) | 地区生徒会 |
| 13日(火) | 全校集会(任命式)・内科検診 | 27日(火) | 学年集会、歯科検診 |
| | | 29日(祝) | 昭和の日 |

※ 正式入部 5月6日(木)です。見学は自由ですが、体験は2週間で全ての部へ行きます。

★1年部の先生方からメッセージ

宇佐美裕司(1組担任)から

新入生みなさんご入学おめでとうございます。1年1組の担任を務めます宇佐美裕司です。「思うは招く」。みなさんはどのような思いを持って入学してきましたか。勉強を頑張りたい、部活を頑張りたいなど様々な思いを持って入学してきたと思います。その思いを大切にしてください。人は思ったとおりにしかならないと先生は考えています。「自分はできる」「こういう夢を叶えたい」など思いは行動するための原動力になります。逆に「自分はできない」「やっても意味が無い」「どうせ無理」などと思っていれば行動をしにくくなります。それでは運動がうまくならないし、勉強が身に付かないことは当然です。自分を成長させるのは努力です。何かをして急激に成長する魔法のようなことはほとんどありません。3年間をじっくりかけて成長していきましょう。そのためにも自分はこうなりたいという目標、夢を持ってこれからの学校生活を送ってください。



出充(2組担任)から

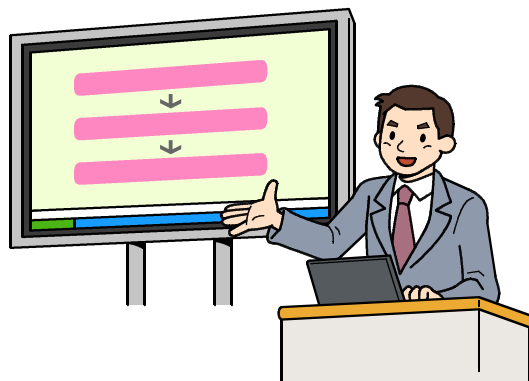
ご入学おめでとうございます。1年2組の担任を務めさせていただくことになりました出(い)充(みつる)です。私も皆さんと同じ、教員1年生です。新入生の皆さんに、私が大切にしている言葉を紹介します。私が大切にしている言葉は「一期一会」です。「一生に一度だけの機会、生涯に一度限りであること」という意味です。この言葉を大切にしている理由は、2つあり、1つ目は、時間は戻らないということです。皆さんが中学生として過ごす時間は一度しかありません。3年間という時間は長いと感じるかもしれません。しかし、過ごしていくとあっという間に時間は経ってしまいます。私は、皆さんには「あの時こうすればよかった、しなければよかった」のような後悔をせず、「〇〇してよかった」と思えるように過ごしてほしいと思います。2つ目は、人との関わりを大切にすることです。人は、一人で生きていくことはできません。必ず周りの人と関わりができます。小学校から一緒だった友達の関わりがあり、クラスメイト、部活動の仲間や先輩、先生等の関わりが増えます。人との関わりは、自分にとっての財産ですので、関わった人を大切に、日々を過ごしてほしいと思います。新しい生活に期待と不安を抱いているでしょうが、みんなで協力してよい1年を過ごしていきましょう。

佐野修一郎(学年主任)から

芝川中学校は、私が昭和61年4月に教員人生を始めた思い出の学校です。4年間、大変に幸せな思いをさせて頂きました。しかし、芝川の方々に、大変にお世話になりながら、何もできないままに転勤してしまい、大きな悔いがありました。ですから、おそらく私の教員人生で最後の赴任校となる芝川中学校に、今まで培ってきたものを全て注ぎ込みたいと思っています。座右の銘は、必先自勝です。中国の呂氏春秋の中の言葉で、『(他人に勝つためには、)まず先に自分に勝て』というものです。自分の中の甘えに負けないように、がんばっていききたいと思います。

★教えていただく先生方

- ①国語=稲葉欣司郎(2年1組)
- ②社会=佐野修一郎(1年主任)
- ③数学=佐野 敬一(教務主任)
- ④理科=宇佐美裕司(1年1組)
- (T T) 出 充(1年2組)
- ⑤英語=渡邊 晴美(2年主任)
- ⑥音楽=由井 陽子(柚野中兼務)
- ⑦美術=梅津智香子(講師)
- ⑧保健=鈴木 秀和(3年2組)
- ⑨技術=遠藤 喜大(講師)
- 家庭=遠藤 公子(講師)



1 組	
市川 飛翔	佐野 啓翔
遠藤 心温	鈴木 玲美
大崎 愛翔	住谷 彩愛
小野田 大和	清 美智花
加藤 健太	高橋 学叶
崖 稟乃	田中 来奈
木村 峻映	望月 颯太
佐藤 春斗	望月 日葵
佐野 月翔	望月 龍心
佐野 七海	渡邊 心華

2 組	
石川 桃絵	杉山 心春
伊藤 来輝	鈴木 啓祐
岡野 朔也	鈴木 瑤大
風岡 美羽	清 有唯莉
黒木 菜瑠実	高山 大舞
小泉 歩葉	樽角 好夢
小泉 歌美留	花井 朋希
後藤 大翔	村野 慧
佐野 葵	望月 陽菜
佐野 裕太	山口 隼人

